

One 高格付インカム・オープン（1年決算コース）

<愛称：ハッピークローバー1年>

（旧ファンド名称：D I AM高格付インカム・オープン（1年決算コース））
追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じ、実質的に高格付資源国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年6月6日～2026年6月5日

第18期	決算日：2026年6月5日	
第18期末 (2026年6月5日)	基準価額	17,327円
	純資産総額	978百万円
第18期	騰落率	16.7%
	分配金合計	0円

（注1）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

（注2）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

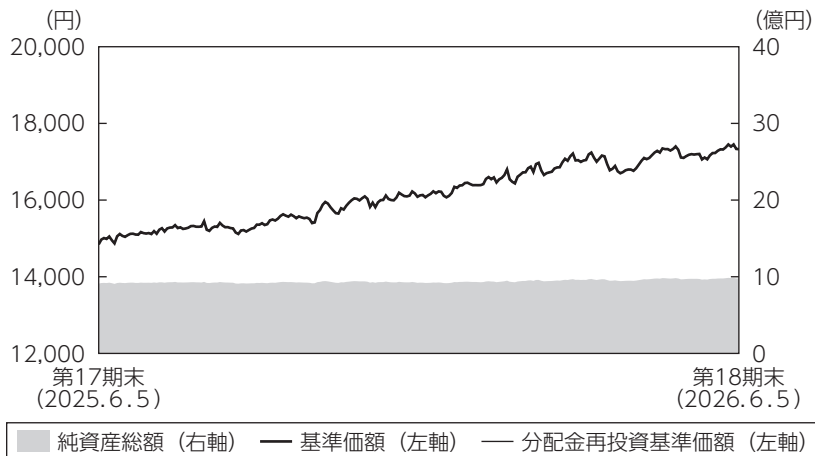
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は、経済の先行き不透明感などから日銀が利上げに慎重姿勢を示したこと、高市氏の自民党総裁就任により積極的な財政出動が意識されたことなどを背景に円が売られ、全ての投資通貨が対円で大きく上昇したことが基準価額上昇の主要因となりました。債券部分についても多くの投資国で10年国債利回りが上昇（価格は下落）したものの、保有債券からのインカム収入がこれを上回ったことで、基準価額にプラス寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第18期		項目の概要
	(2025年6月6日 ～2026年6月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	178円	1.102%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,173円です。
(投信会社)	(89)	(0.551)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(80)	(0.496)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(9)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.010)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	180	1.115	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

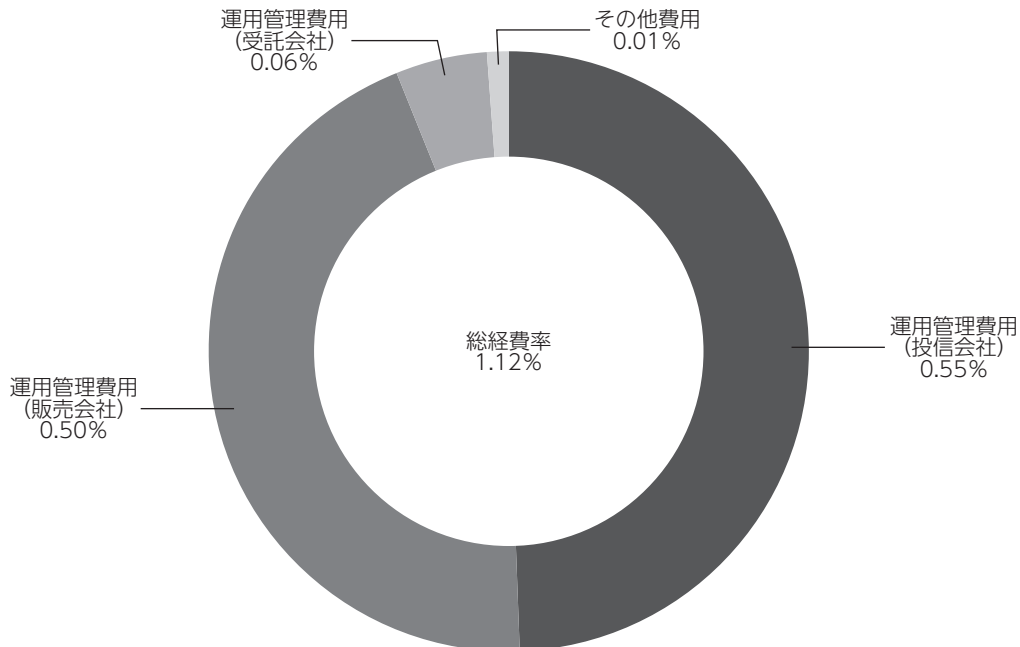
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。



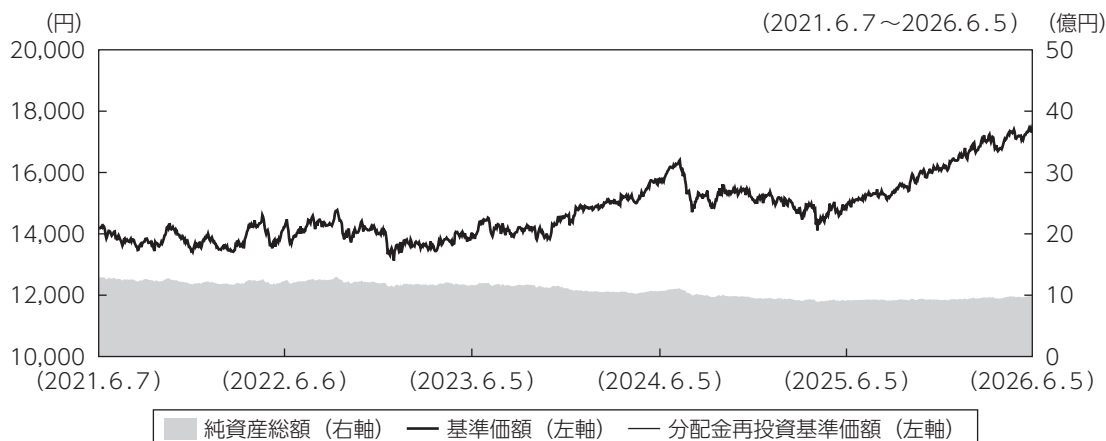
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年6月7日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年6月7日 期首	2022年6月6日 決算日	2023年6月5日 決算日	2024年6月5日 決算日	2025年6月5日 決算日	2026年6月5日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	14,178	14,220	14,037	15,653	14,845	17,327
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	0.3	△1.3	11.5	△5.2	16.7
純資産総額 (百万円)	1,289	1,229	1,173	1,061	910	978

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

外国債券市場では10年国債利回りが多くで上昇しました。米国国債利回りは、インフレ減速や雇用指標悪化などから、F R B（米連邦準備理事会）が利下げを開始したことなどを背景に2025年10月にかけて利回りが低下（価格は上昇）したものの、2026年2月に米・イスラエルがイランへ攻撃したことで原油価格が急騰、インフレ懸念の強まりから利回りが上昇に転じました。投資国の国債利回りも概ね同様の動きとなりました。

為替市場では、主要通貨が対円で大きく上昇しました。当期は日銀の追加利上げに慎重な姿勢や、高市氏が自民党総裁に就任し、日本の積極的な財政政策の実現が意識されたことなどから主要通貨に対して円が売られる展開が続きました。当ファンドの投資国通貨もいずれも対円で上昇しましたが、中央銀行がインフレ高止まりから利上げに踏み切ったことなどを背景に、オーストラリアドルとノルウェークローネは一段と大きく上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンドを高位に組入れました。

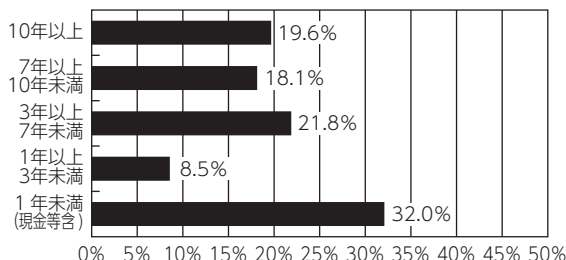
●D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。デュレーション*については、投資国および世界経済見通し、主要国および投資国のインフレ動向や金融政策を勘案して調整を行いました。こうした中、当期末のデュレーションは前期末と比較して短期化しました。

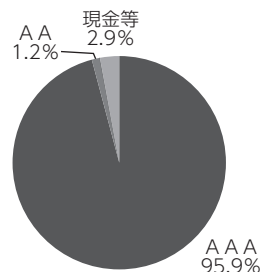
※金利変動に対する債券価格の変動性。

【D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンドの運用状況】 2026年6月5日現在

○残存期間別構成比



○格付別構成比



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年6月6日 ～2026年6月5日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	9,739円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンドを高位に組入れることで、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

●D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った運用を維持する方針です。デュレーションについては、主要国および投資国の経済やインフレ見通し、合わせて金融政策動向の変化や利回り水準等を勘案しながら機動的に調整します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■ファンド名称を「D I AM高格付インカム・オープン（1年決算コース）」から「One 高格付インカム・オープン（1年決算コース）」に変更しました。

(2026年3月6日)

■信託財産留保額の撤廃に伴う所要の変更を行いました。

(2026年3月6日)

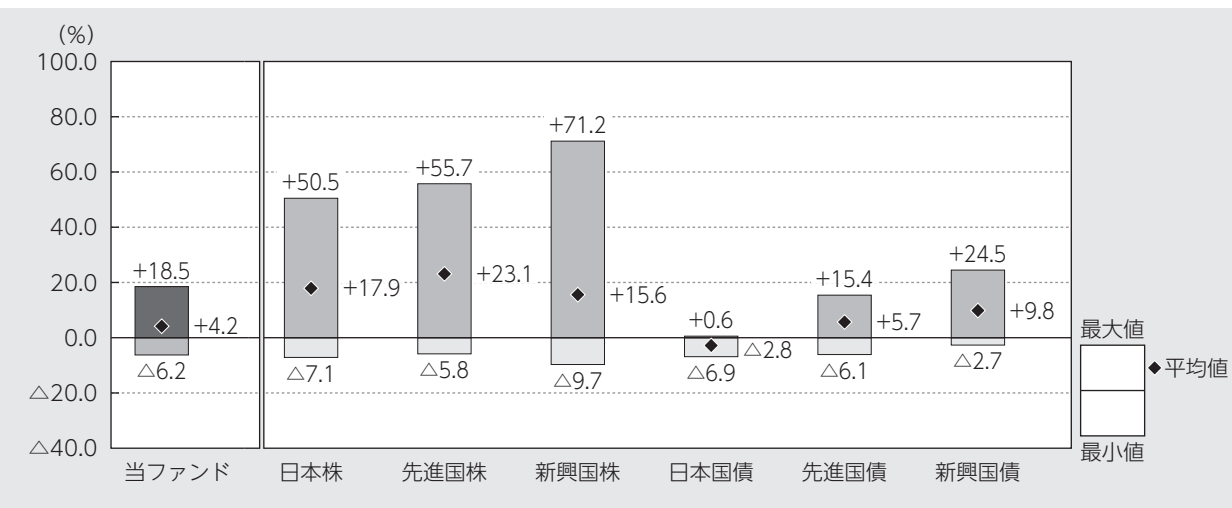
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年9月29日から無期限です。	
運 用 方 針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	One 高格付インカム・オープン（1年決算コース）	D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド	高格付資源国の公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、高格付資源国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として6月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）の中から、原則として、1万口当たり10円を限度として基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年6月～2026年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

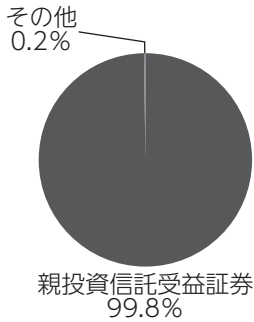
当ファンドの組入資産の内容（2026年6月5日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1 ファンド)

	当期末
	2026年6月5日
D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド	99.8%
その他	0.2

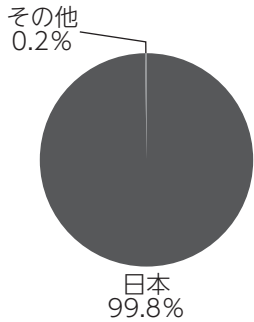
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

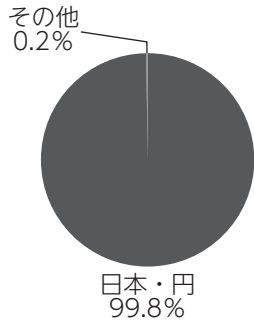


(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

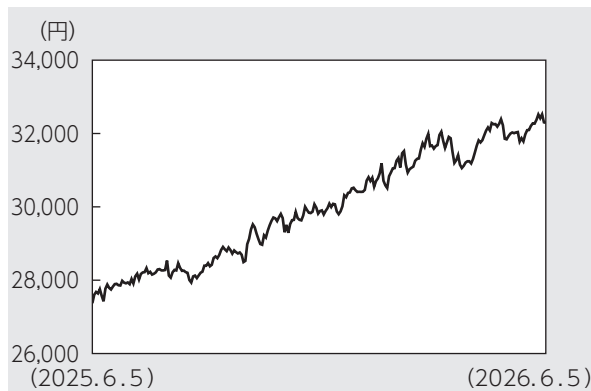
項目	当期末
	2026年6月5日
純資産総額	978,504,241円
受益権総口数	564,730,735口
1万口当たり基準価額	17,327円

(注) 当期中における追加設定元本額は49,362,091円、同解約元本額は97,837,747円です。

組入ファンドの概要

[D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2025年6月6日～2026年6月5日)

◆基準価額の推移



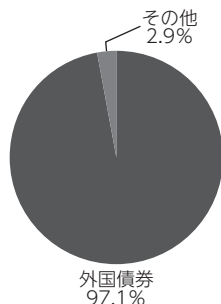
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	23.2%
CANADA 2.75 05/01/27	カナダ・ドル	5.7
AUSTRALIAN 4.75 06/21/54	オーストラリア・ドル	5.3
CANADA 2.25 02/01/28	カナダ・ドル	4.2
CANADA 3.25 12/01/35	カナダ・ドル	3.3
CANADA 3.25 12/01/34	カナダ・ドル	2.9
CANADA 2.5 12/01/32	カナダ・ドル	2.3
NEW ZEALAND 3.5 04/14/33	ニュージーランド・ドル	2.2
AUSTRALIAN 3.75 04/21/37	オーストラリア・ドル	2.1
CANADA 2.75 03/01/30	カナダ・ドル	2.0
組入銘柄数	62銘柄	

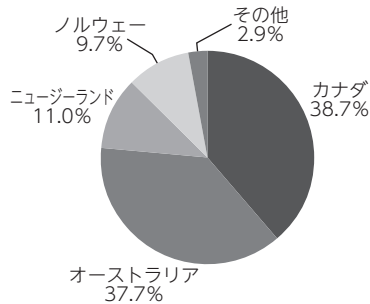
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	3円 (3) (0)	0.010% (0.010) (0.000)
合計	3	0.010
期中の平均基準価額は29,984円です。		

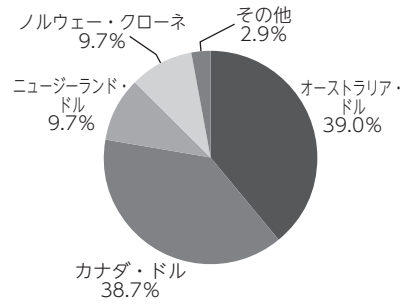
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。